

議事要旨

(垂水区の小学校新設に伴う校区調整)

質問	説明
提案された校区案はどのような考え方によるのか。	舞多聞地域が開発された経緯や地域コミュニティの状況、通学路の安全性など、舞多聞地域の多くの方から要望があったことを総合的に勘案すると、今後、一時的に仮設校舎で対応する状況が生じると予想されるが、舞多聞地域を一つの校区とすることが適当であると考えている。
舞多聞地域の児童が増えると教室が足りなくなることも予想されるが、その見通しについて伺いたい。	新設校には普通教室が28室、また転用可能な教室がいくつかあり当面の間は対応できるが、それを超えるような場合は、仮設校舎の建設などいろいろと工夫していく必要がある。
現在、本多聞小学校に通っている児童は、引き続き本多聞小学校に通うことはできるのか。	指定外通学の制度の要件に該当する場合は可能である。
本多聞小学校は小規模化するのでは、それに対応する必要があるのではないかと。	本多聞小学校を含めて周辺の学校でも小規模化しており、今後、統廃合や校区調整の検討が必要になってくると考えている。一方、神戸市ではニュータウンの活性化にも取り組んでおり、調整のうえ検討していきたい。
新設校については、児童数の増加に向けた準備をお願いしたい。また、周辺校の児童数の推移についても、引き続き注意していただきたい。	今後とも児童数の推移を注視し、学校運営に支障がないよう、教育環境の改善に努めていきたい。
本多聞中学校の学校規模はどうか。また、舞多聞の地域に中学校を新設する予定はないのか。	本多聞中学校については、舞多聞地区の子供たちが増えるので、今後過密化について対策を講じる必要が生じると考えている。そのため、今後の児童、生徒数の推移については注視していきたい。なお、舞多聞地区に中学校を新設する計画はない。
放課後の子供たちの居場所として、学童保育の部屋の確保はできているのか。	新設校には、学童保育コーナーを2教室分確保している。
通学路について、子供たちの安全対策など施されているのか。	信号機の設置や「文」マークの舗装など警察や市の関係部局に要望している。

(長田区の小学校統合に伴う校区調整)

質問	説明
統合にあたって、地元から要望は出ているのか。	通学路の安全について一番多くの意見をいただいている。両校の保護者や地域の方と実際に現地を歩き、警察や市の関係部局に対応をお願いしている。
統合後の学童保育の場所はどうか。	統合校の校内にある学童保育コーナー又は、大日丘の児童館が利用可能である。
統合後の跡地利用についてはどうか。	跡地利用については未定である。